

道路せいそう

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-17-4 日本ロードビル3階

TEL 03-6435-1664 FAX 03-6435-1665

e-mail jimukyoku1@seisougijutsu.or.jp

URL <http://www.seisougijutsu.or.jp/>

発行 一般社団法人日本道路清掃技術協会 (昭和41年設立 平成4年9月創刊)



年頭のご挨拶

会長 辻 靖三

新年おめでとうございます

令和の世の新年を迎えました。昨年、平成から令和に移り変わり、令和の時代になりました。振り返ると終戦から本年は75年になります。私は「戦中生まれ」ですが、会員の皆様もその頃の方々がおられると思います。この75年間の世の中の変わり様は、まさにすさまじいものであったといえるものです。現在の日本は、この間の国、国民が努力し、努力して作り上げてきた姿であります。しかし、世の中は落ち着くことなく、新たな状況が次々と出てきて、動いてきています。



最も基本である日本人の人口は、既に少子高齢化となっていて、今後も進行していくこととなるのでしょうか。この人口動態はあらゆることに変化をもたらすこととなります。国土づくりもこれまで各地では人口増を前提としましたが、現実では地方部では人口減高齢化社会の地域づくりとなり、市町村合併も進みました。一方、大都市には人口増での都市開発が進んでいます。産業構造も、世界情勢にも大きく動かされ、生活様式にも大きく左右されてその立地状況も変化してきています。国土の基盤づくりも、昭和時代の国土計画がまだ整備途上ではありますが、それらの変化に対応しきれないのが実状でしょう。

昨年の台風のように自然の変動も大きくなることもあり、対応出来ずに大災害も生じています。国土基盤施設の整備も進んできましたが、それら基盤施設の高齢化も進行してきており機能維持、機能改善が大きな分野になりつつあります。今後はその膨大な既存基盤施設の機能維持、機能改善も大きな事業となるべきで、施設の新設事業はそれら既存基盤施設に付加価値をもたらす事業でしょう。国土整備は長年に亘って施設の新設に注目してきましたが、新時代では既存施設の機能改善・維持に重心を移していく時期であると考えます。施設整備の実務を担う民間部門も、その動向と連携していくことが求められるのではないのでしょうか。国土整備の担い手の公と民の双方とも最重要課題はそれぞれの担い手確保です。公と民との役割分担の基本は、ほぼ半世紀前に定められたものでしたが、担い手事情が大変化した今、その仕組みを変える時期であると考えられています。特に機能改善・機能維持の分野の仕事は公と民を繋ぐ契約は、内容別に細分化した業務でなく、広く包括的な内容の業務とし、単年度でなく複数年の契約として、契約にかかわる双方の人手を少なくし、現場業務は幅広くした内容を一元化契約にすることで効率的に実行できる方式です。そのような契約段階の内容、手続きの方式に変えて、公と民双方で担い手を確保するための新時代の起死回生策であると思います。

道路維持管理部門の仕事もそのような方向に対応できる体制、人員、機材、ノウハウの養成によって幅広い業務をも実行できる技術力を持ち、他社とも連携できる経営力も有する会社となることを期待しますし、仕事の範囲も道路清掃から他の分野にも展開できる局面もうかがうことも出来ることにつながることを、私の令和の初夢です。

新年のごあいさつ

理事長 亀田 丈司

あけましておめでとうございます。

昨年は、大雨と台風による災害が日本各地で発生し、多くの被害が出てしまいました。その都度、当協会の会員会社に緊急支援の要請等があり、各社とも人員の手配が大変だったことと存じます。勿論、他の業務の関係で緊急要請に応えられない会社もあったことと思いますが、現状の業務環境（作業日数）を鑑みれば止むを得ないことと感じております。

災害発生時には、照明車、ポンプ車などの災害対策車両や散水車、高圧洗浄車、吸引車、路面清掃車などの清掃車両が被災地に欠かせないものとなってきます。私たちの会員各社の人材が大型車両の免許を保有し、当該車両を使用して通常の業務を行っていることから、災害が発生した際には必然的に、現地に出向くよう要請されて来ました。しかし、今後はその要請に応えられない可能性が高まっています。道路清掃作業に従事する人の高齢化と作業員数の減少がその要因です。災害時は災害対策車を被災地に運ぶだけではありません、現地でその機械を安全かつ的確に操作しなければなりません。そのような人材がいなければ、対策車を何台準備しても相応の活動は行えません。

どのように人材を確保、育成するかが喫緊の大きな課題と感じています。国道の道路清掃に対する予算は、平成22年度に大幅に減少した為に、当協会の会員会社も廃業に追い込まれたり、人員削減を余儀なくされました。仕事が減れば、人員も減ることは自明の理であり、当協会はこの10年間の道路管理水準の低下など様々な弊害を打開するために関係先に陳情を行って参りました。

政府は近年の気候変動による台風の大型化などに対して防災・減災の為に国土強靱化を進めて行く方針です。予算を設備などのハード面に掛けることも重要ですが、対策車を動かす人材の確保などのソフト面にも同様に掛けなければ、災害発生時に対応が出来なくなります。

道路管理水準を平成22年以前に戻すことは、道路の排水機能維持、災害時の緊急対応人員の確保に繋がり、まさに防災・減災に直結することになります。今年も引き続き、当協会業務の重要性を各方面にご理解いただき、予算付けを陳情し、各社が社会により貢献出来得るような業界に戻るよう活動して参ります。関係各位のご協力をお願いすると共に、災害の無い一年となることをお祈り申し上げます。



台風19号に伴う災害支援状況

昨年10月12日に日本に上陸した台風19号は、関東や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。国土交通省発表によると、堤防決壊が国管理河川6水系7河川12箇所、都道府県管理河川20水系67河川128箇所、合計で20水系71河川140箇所にもなり、これまで経験したことがないほど各地で土砂災害が発生しました。このため、国土交通省では非常体制をとり災害に対応しました。多くの国道事務所から各社に災害支援の要請があり、民間TEC-FORCEとして路面清掃車、散水車、側溝清掃車、排水管清掃車などを被災地に派遣し、路面に堆積した土砂の撤去にあたりました。また、今回は福島河川国道事務所より当協会に直接支援要請があり、会員各社に作業員の手配をお願いし、川上建設(株)と日本ロード・メンテナンス(株)の混成チームにより被災地に向かい、清掃作業活動を行いました。

写真提供：福島河川国道事務所



福島河川国道事務所より桑折町内に流入した土砂の撤去作業使用する災害対策車両を派遣 令和元年10月16日



福島県伊達郡桑折町内で流入した土砂の撤去作業を行う路面清掃車と散水車



伊達郡国見町地内に流入した土砂の撤去作業



伊達市梁川町地内に流入した土砂の撤去作業

「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正について（令和元年法律第三十五号）」が、令和元年6月14日に公布・施行

令和元年6月に新・担い手3法が改正され施行されましたのでご紹介致します。

平成26年に、品確法と建設業法・入契法を一体として改正（※）し、適正な利潤を確保できるよう予定価格を適正に設定することや、ダンピング対策を徹底することなど、建設業の担い手の中長期的な育成・確保のための基本理念や具体的措置が規定され実施されてきました（「担い手3法」）。

一方で、近年の相次ぐ災害を受け「地域の守り手」としての建設業への期待、働き方改革促進による建設業の長時間労働の是正、i-Constructionの推進等による生産性の向上など、新たな課題や引き続き取り組むべき課題も存在します。今回、新たな課題に対応し、5年間の成果をさらに充実するため、「新・担い手3法」として、再び品確法と建設業法・入契法が改正されました。

※担い手三法（公共工事の品質確保の促進に関する法律、建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律）

当協会の業務に関係する概要は以下の通りです。

■災害時の緊急対応の充実強化・・災害支援関係

○発注者の責務として以下の内容を規定

- ・緊急性に応じた随意契約・指名競争入札等適切な入札・契約方法の選択
- ・建設業者団体等との災害協定の締結、災害時における発注者の連携
- ・労災補償に必要な保険契約の保険料等の予定価格への反映、災害時の見積り徴収の活用

■働き方改革への対応

○発注者の責務として以下の内容を規定

- ・休日、準備期間、天候等を考慮した適正な工期の設定
- ・公共工事の施工時期の平準化に向けた、債務負担行為・繰越明許費の活用による翌年度にわたる工期

設定、中長期的な発注見通しの作成・公表等

- ・設計図書の変更に伴い工期が翌年度にわたる場合の繰越明許費の活用等

○公共工事等を実施する者の責務として適正な額の請負代金・工期での下請契約の締結を規定

■その他

○国・特殊法人等・地方公共団体等の責務として公共工事の目的物の適切な維持管理を規定

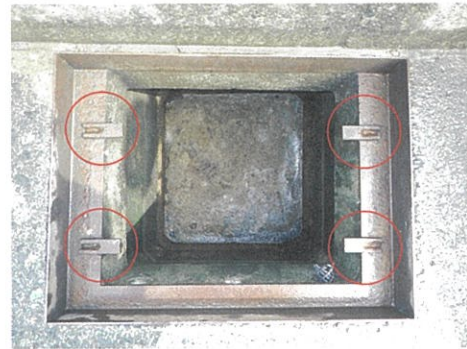
沢山あるって？ 集水柵蓋の取り付け方法について

先日、現場の方から「集水柵の蓋の種類が多くて、開閉するにも何種類もの工具を揃えないとまらないから大変だよ！」というお話がありました。「エッ！！集水柵の蓋の種類って色々あるの？」知りませんでした。そこで、今回は知られざる「集水柵蓋」の取り付け方法について、調べてみました。

1. 回転ロック固定式柵蓋



- ・柵蓋裏面に取付けられた半円状の回転式金具が、柵枠側に取付けられた受金具の下に入り込むことによって、固定します。
 - ・平成15年頃、固定式柵蓋が普及し始めた当初は、殆どがこのタイプでした。
- 現在、新規で設置される事はないようです。



長所

- ・作業手順が他の固定式柵蓋と比較して最も効率的です。

短所

- ・柵枠側の受金具の溶接部分が経年により劣化し、部材が欠落する事があります。

柵蓋開放状況

- ・ドライバー等で回転式金具を180度回転させて開閉を行います。

2. ボルト固定式柵蓋



- ・ボルトで柵蓋を固定します。柵枠にボルト孔が取付けられています。





長所

- ・回転ロック式・ピンロック式と比較すると、柵蓋固定が確実です。

短所

- ・下記の要因から、作業効率が著しく低下します。
 - *ボルト設置部分に土砂が堆積する為、除去が必要。
 - *ボルト孔に土砂が入り込む為ボルト固定の際に孔内の土砂を洗い流す必要がある。
- ・経年によりボルトが腐食し固着してしまう為、開放不可となる場合があります。



柵蓋開放状況 (インパクトレンチ)

- ・通常はインパクトレンチを使用しますが、夜間等、騒音に留意が必要な場合はT字レンチを使用する為、作業効率が低下します。またボルトが腐食により固着し、インパクトレンチが空転してしまう場合も、同様にT字型レンチを使用しますが、その際に潤滑剤等の吹き付けも行う為、作業効率が更に低下します。

3. ナット固定式柵蓋



- ・ナットで柵蓋を固定します。柵枠にネジ支柱が取り付けられています。(下写真)



長所

- ・ボルト固定同様、柵蓋固定が確実です。

短所

- ・ボルト同様、ナット設置部分に土砂が堆積する為、除去が必要となり、作業効率が低下します。ネジ支柱が突出している為、ボルト孔のように洗い流す必要が無い為、効率は向上します。
- ・経年によりナットが腐食し固着してしまう為、開放不可となる場合があります。

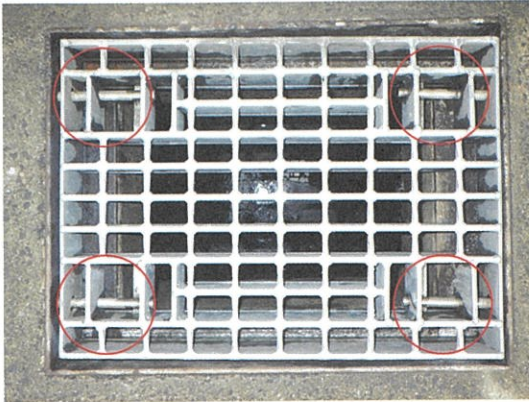


柵蓋開放状況 (T字レンチ)

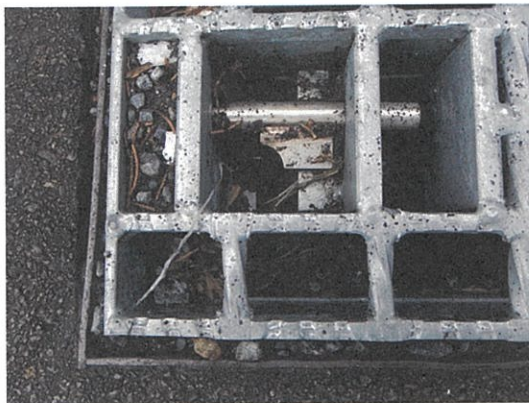
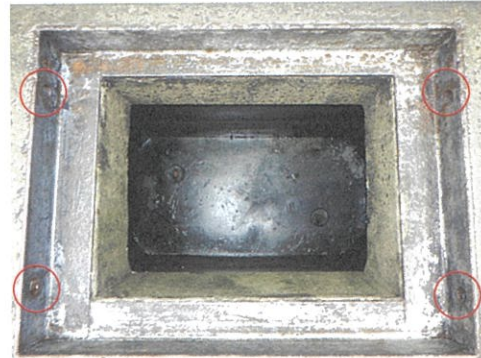
- ・通常はインパクトレンチを使用しますが、夜間等、騒音に留意が必要な場合はT字レンチを使用する為、作業効率が低下します。またナットが腐食により固着し、インパクト

レンチが空転してしまう場合も、同様にT字型レンチを使用しますが、その際に潤滑剤等の吹き付けも行う為、作業効率が更に低下します。

4. ピンロック固定式柵蓋



- 柵蓋に取付けられたピンを横方向にスライドさせ、柵枠の側面に取付けられた固定孔に挿入して固定します。



長所

- 他の固定式と比較して、部材の劣化等による欠落や固着等の不具合が発生しづらい構造となっています。

短所

- 柵蓋のスライド式ピンと、柵枠側面の固定孔にズレが生じていると、柵蓋の開閉が著しく困難となります。

柵蓋開放状況

- 固定部分が様々な形状をしている為、その都度工具を変えて対応します。その為、多種の工具の用意が必要となります。

5. 番外編. 細目グレーチング



柵蓋の固定方式とは関係ありませんが、交差点（横断歩道）付近の集水柵は、ハイヒール等のはまり込み防止の為に、目の細かいグレーチングが設置されています。排水施設清掃作業（特に集水柵清掃）において、最も作業効率の低下を招いているのが、このグレーチングの目詰まり除去です。

側溝清掃車（バキュームカー）による吸引も、土砂が固着していると効果が無い為、すべて人力（ドライバーによる掻き出し作業）にて行っ



ているようです。写真ではわかり難いのですが、土砂で完全に閉塞しています。この作業で10～15分の時間が必要となります。こういった作業は、通常の歩掛りに別途計上していただくことができるのでしょうか？

今回の報告は現場の技術者からの資料提供によって作成しました。主に関東地方整備局管内の柵蓋が該当しておりますが、こんなに沢山の柵蓋の固定方法があるとは……。道路や道路構造物を造る場合は、常にメンテナンスの事や現場で作業する人の事を考えて、どれか一つに統一して欲しいものです。

♡ 清掃業界の最前線で働く女性に十の質問 Vol.4 ♡

前号に続き第四弾は、日本ロード・メンテナンス株式会社に入ったばかりの「黒澤このみ（くろさわこのみ）」さんです。黒澤さんは、工業系の学校を卒業後に別の会社で働いておりましたが、地域社会に貢献できる仕事に携わりたいと当業界に入ってこられたものです。今では、男性に交じって先行車で落下物の回収をしたり側溝の土砂を除去する作業など実作業を行っています。男性に交じっての体力作業は大変だと思いますが、黒澤さんに事務局から興味あるお話を色々聞いてみました。

①まず、清掃業界へ入ったきっかけを教えてください。

♡ 外で身体を動かす仕事がしてみたかったのと、普段踏み入れることの無いトンネル内を清掃することに興味を持ったのがきっかけです。

②この仕事は、どのようにして知ったのですか？

♡ インターネットの求人広告で知りました。

③今の仕事の内容を教えてください。

♡ 路面清掃時はスノーパーが回収しやすくなるよう土砂をスコップでほぐしたり落下物を回収しています。また、集水桝やU字溝の土砂を除去したり側溝清掃車で吸引する作業をしています。

④仕事は大変ではないですか？

♡ 体力仕事なので大変な事もありますが、先輩方のサポートのおかげでいつも助かっています。方向音痴の為路面清掃のコースやつくば市の道を覚えることも大変ですが、日々勉強しています。

⑤入社して良かったと思う事はありますか？ ♡ 身体が少し丈夫になった気がします。

⑥仕事をしていく上で困ったことはありますか？

♡ 専門用語や現場での動き方で知らない事や分からない事がまだまだ沢山あります。毎日が勉強です。

⑦仕事について、これからやってみたいことはありますか？

♡ 大型免許を取得することと、MT車の運転が上手になりたいです。

⑧仕事が休みの日は、何をして過ごされていますか？

♡ 掃除や家事をしたり買い物に行きます。たまに遠出したりします。

⑨10年後の自分はどうなっていたいですか？

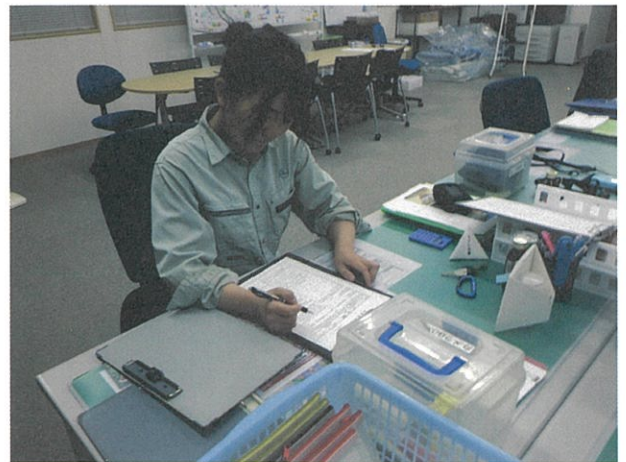
♡ これから色々な経験をし、学んだ知識を活かして今よりも強い人間になっていたいです。

⑩最後に将来の夢は何ですか？

♡ やりたい事リストを全てやりつくすことです。

今回も事務局の独断と偏見によりインタビュー形式で「黒澤このみ」さんにお話をお伺いしました。“やりたい事リスト”はどんな事が書かれているのでしょうか？おそらく沢山のやりたい事があるのでしょうか！やりたい事が実現するのを応援しております。

これからも、当業界で頑張っている沢山の方にご登場いただきたいと思っております。どなたか、お知り合いの方など居られましたら、事務局までご紹介ください。よろしくお願いたします。



サンリツ工業株式会社の歩み

弊社は、三重県地域を主体に事業を行っている会社で、昭和44年(1969)10月29日に下水管渠及び路面清掃作業を目的に設立されました。以降、昭和46年(1971)5月には土木工事業の三重県知事許可を得、その後、昭和57年(1982)3月に産業廃棄物収集運搬業の許可を得て人材と作業用車輛の陣容を整え、現在は社長以下職員25名、協力会社8社(社員約60名)、作業用車輛22輛の陣容で作業を実施しています。

昭和52年(1977)には北勢国道工事事務所(当時:名阪国道工事事務所)発注の単価契約路面清掃を受注し、昭和59年(1984)頃からは三重河川国道事務所(当時:三重工事事務所)の路面清掃業務も受注するようになりました。一時は、現在の担い手3法や働き方改革に反するような不良不適格業者に仕事を奪われるようなこともありましたが、平成7年(1995)の凍結防止作業等からも不良不適格業者も居なくなり、翌平成8年(1996)から現在に至るまで三重河川国道事務所の三重北部路面管理工事を請け負っております。当社も数年前から(一社)日本道路清掃技術協会に入会させて頂き、協会のご尽力により国土交通省中部地方整備局との意見交換会にも参加させて頂くことが出来るようになりました。この様な現場の意見を発する場を設けて頂き協会はもとより国土交通省の関係者の方々への深い関心とご理解も頂けるようになり深く感謝しております。また、この様に受発注者による忌憚のない意見交換が出来ることは双方にとって理解も深まり、より一層、公共事業の効率的な業務執行と発展に繋がるものと確信しております。

現在では、意見交換会での議論も深まり「亀が歩むように少しずつ」ではありますが提案・要望事項等が実現されつつあるように思います。人口減少が予想される中、色々の業界で働き方改革が叫ばれていますが、今後とも協会と一体になり少しでも仕事が良好に進められるよう環境づくりの為社長以下25名心一つにして励みたいと考えております。今後共、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

サンリツ工業株式会社

ストレスを管理する：人間関係がストレスの基

私は、毎朝、通勤時間中にラジオを聞いています。今回、とても気になる放送がありましたので、皆さんに紹介したいと思います。ここでお話をされていたのは、林香寺住職で精神科医でもある「川野泰周」さんという方です。「林香寺は鎌倉の大本山建長寺の末寺であり、室町時代の1420年頃に創建されたと言われており、川野さんは19代目の住職」です。お坊様でありながら精神科、心療内科医でもあるという異色の経歴を持って活躍されている川野さんのあるラジオ番組からのお話を紹介します。これを読んでご興味が沸いた方は、「川野泰周」さんの本がたくさん出版されていますので、参考になるかと思えます。

「ストレスを管理する：人間関係がストレスの基になっている」

対策① 先手必勝で挨拶をすると人間関係が丸くなっていく。

相手の目を見てしっかり言う⇒信頼度が急激に増す。

挨拶を自分からするという事は、相手に対して心を開いているという表しである。私たちは、相手は自分に対して心を開いているか常に監視している。その監視によって得られた情報を集約して処理して、自分に対して心を開いていないんだと判断すると、味方ではないとか敵とか判断するようになってしまいます。味方ではない前提ですから相手に対して脅威を与える仕草や言葉を発してしまうでしょう。

ポイントとして、先に挨拶をするときは、相手の反応に期待しない！返事がなかったらこの人は私に対して嫌いなのかと思い、その後のご自身の態度が敵対的なものになってしまったりする。さらに相手にも返事ができなかったタイミングや聞き取れなかったことなど色々あるので、その度に一喜一憂するのはもったいない。声をかけたのだから返事をするのが当然と考えないで、こちらから挨拶をしたのだから一方的でもイヤという気持ちで挨拶をすることが肝心である。

対策② 会話の中で「すみません！ごめんなさい！」よりも「ありがとう！」という癖をつける。

日本人は謝る場面でもないのに「すみません！」という癖がついている。何か譲ってもらったり手伝ってもらったりしたときは、「ありがとう！」というべきである。感謝されて嫌な人はいないからである。色々な場面で「ありがとう！」という習慣をつけていく。「ありがとう！」とは「ありがたい！」「ありにくい！」といった意味ですから、当たり前の真逆の意味である。相手の行動をしっかり見つめて、これはありがたい行動をしてくれたなと思える習慣に繋げていきます。こうやって今あるものや普段してもらっている事に対して感謝の気持ちを持つようにすると言葉にできるようになって、その姿勢が信頼関係を育んでいってくれるようになります。

お互いにこんな気配りができたら、ストレスが溜まる通勤電車や仕事もスムーズにいくかも？

『道の駅』探訪記 Vol. 7: 道の駅 しもつま



こんにちは！企画・広報部会の編集委員のMとSです。

『令和』の元号にも慣れてきて、消費税10%に少し高いなあ実感する今日この頃ですが、引き続き『道の駅』探訪記をよろしくお願ひします！

そして、企画・広報部会に新たにO(オー)編集委員が加わりました！三人合せて『MOS(モス)』として、「道路せいそう」を盛り上げていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします！

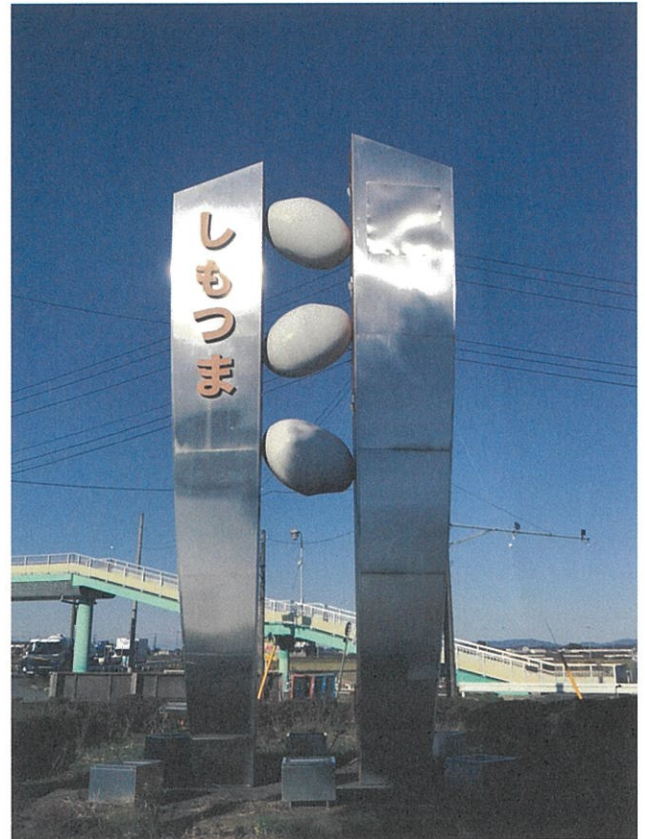
〈しもつま〉

さて、今号は茨城県の道の駅を初めて紹介させて頂こうと思ひます。

場所は茨城県下妻市にあり、国道294号線沿いに「道の駅しもつま」があります。



下妻と言えば有名なのは、映画『下妻物語』（深田恭子・土屋アンナ主演、2004年公開）の舞台となったところですね。この映画のヒットで広域合併案が住民の反対で白紙になったそうですよ。また、下妻市で有名な、しもつま納豆の「福よ来い」を製造している納豆工場が道の駅にあって製造見学もできるそうです。毎週月・水・金の午前中に見学ができるようです。



さて、お昼時になりましたので、道の駅で楽しみの一つである食事をしてきました。

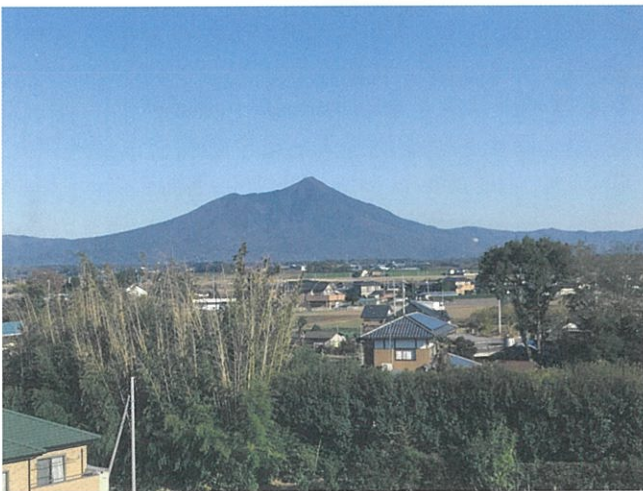
「道の駅しもつま」には3つの食事処がありましたが、今回は「下妻食堂陽陽」で食べることにしました。「福よ来い」の納豆がその場で食べられる納豆定食もありましたが、やはりお腹が空いている時はどうしてもお肉に目がいってしまうのは、私だけでしょうか。ボリューム満点の「ジャンボかつ定食」を注文しました。やわらかくて、ジューシーなお肉でとても美味しかったです！



次回来訪した時は茨城の銘柄豚「ローズポーク」を使用した、上ロース豚カツ定食を食べようと心に決めています。しかし、もう一つの食事処の「しもん亭」の炙り三種丼のほうも気になってしまいます。。



道の駅の建物の3階には展望台があり、日本百名山の一つである筑波山（標高877m）を眺められます。周囲にさえぎる建物がなく、筑波山を一望できるのでおすすめです。



また、宝くじ売場もあるのですが、「福よ来い宝くじ売場」という名前なので、なんだか当たりそうな気がします。今度、ジャンボ宝くじを買いに行こうと思います。



今回、道の駅を訪問してあらためて感じた事ですが、道の駅は午前中に行くことが望ましいという事です。午前中は農産物の直売所の野菜の種類や量が豊富です。午後に行くとほとんど品薄になってしまいます。道の駅は地元の方の八百屋さんの役割を担っているようですね。新鮮で、物が良く、しかも安い！ご近所にあったらいいですね。



次号もまた道の駅を探訪して参りますので、令和2年の本年も何卒よろしくお願い申し上げます！

編集後記

オリンピックイヤーの今年は、少しでもスポーツに挑戦し、アルコールで緩んだおなかを引き締めたいと思っております。三日坊主にならないように、強い気持ちで臨みたいと宣言すれば何とか続くかな・・・

事務局も新体制で頑張っていきます！
今年もよろしくお願いいたします。

